

■施策評価シート 3-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	子どもの生きる力を育む教育の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-01-①	施策名	豊かな心と健やかな体の育成

<p>施策の概要</p> <p>子どもの豊かな心の育成に向けて、道徳教育を進めるとともに、すべての子どもの多様性を受け入れるインクルーシブ教育を進めます。 小・中学校体力向上プロジェクトを推進し、「運動が好き」や「体育の授業が楽しい」という気持ちを大切にしながら、子どもの体力向上と健全な心身の育成を図ります。また、中学校給食の実施に向けた取組を進めます。</p>

成果指標(単位)	「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(%)【上段:小学6年 下段:中学3年】				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	84.0 74.0	84.5 74.5	85.0 75.0	85.5 75.5
実績値	78.5 76.1	79.6 75.0	81.1 74.5		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙では、「自分にはよいところがあると思う」と答えた割合は、小学6年生において、目標値に達しなかったが、前年度に比べ1.5ポイント増加し、全国および滋賀県平均を上回る結果となっている。中学3年生においては、目標値を達成することができたが、前年度に比べ0.5ポイント減少した。授業や学校生活において、子どもたちの自己肯定意識を高め、豊かな心が育まれるよう児童生徒一人一人に対し、きめ細やかな支援を行うことが必要であると考えます。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>発達障害等特別な教育支援を必要とする子どもの増加に伴い、インクルーシブサポーターの配置や医療的ケアが必要な児童のため看護師を配置するなど、特別支援教育の充実を図り、よりきめ細かい支援を行うことができた。児童生徒の体力向上、スポーツ傷害予防を目的とした小中学校体力向上プロジェクトでは、「運動が好き」「体育が楽しい」という気持ちを伸ばすため、学校体育の充実を図ることができた。</p>

<p>評価に基づいた令和6年度の取組についての考え方</p> <p>児童生徒一人一人に対するきめ細やかな支援を大切に、子どもの自己肯定意識を高め、心も体も健康になれる教育に取り組む。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
インクルーシブサポーター配置事業	児童生徒支援課	○	特別な教育支援を必要とする子どもの増加に伴い、障害にかかわらず地域で学ぶことができるよう、きめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図ることができたため。
医療的ケア支援員配置事業	児童生徒支援課	○	日常的にたんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要な児童に対し、きめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図ることができたため。
中学校体育推進事業	学校教育課	○	スポーツ傷害予防講習会、運動部活動支援に取り組み、学校体育の充実を図ることができたため。
小学校体育推進事業	学校教育課	○	スポーツ体験教室「レッツエンジョイスポーツ2022」、滋賀レイクスによる「ダンス教室」を実施し、学校体育の充実を図ることができたため。

■施策評価シート 3-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校給食材料購入事業	学校給食センター
小学校給食管理運営事業	学校給食センター
中学校給食材料購入事業	第二学校給食センター
中学校給食管理運営費	第二学校給食センター
学校保健推進養護教諭配置事業	学校教育課
地域ぐるみの学校安全推進事業	学校教育課
中学校文化部活動推進事業	学校教育課
科学発表展覧会開催事業	学校教育課
学校環境衛生管理事業	学校教育課
学校災害賠償補償保険事務	学校教育課
学校保健推進事務事業	学校教育課
校医等配置事業	学校教育課
児童・生徒安全対策事業	学校教育課
児童・生徒等健康診断事業	学校教育課
児童就学援助費	学校教育課
就学時健康診断事業	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
生徒就学援助費	学校教育課
体験実践活動推進事業	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
通学路対策事業	学校教育課
日本スポーツ振興センター負担金事務	学校教育課
教育支援委員会運営事務	児童生徒支援課
ことばの教室運営事業	児童生徒支援課
フリースクール利用支援事業	児童生徒支援課
高校生等人権教育活動事業	児童生徒支援課
自主活動学級開設事業	児童生徒支援課
人権教育推進事業	児童生徒支援課
生徒指導推進事業	児童生徒支援課
同和教育指導推進事業	児童生徒支援課
特別支援教育運営事業	児童生徒支援課
青少年美術展覧会開催事業	学校政策推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事

■施策評価シート 3-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	子どもの生きる力を育む教育の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-01-②	施策名	確かな学力の育成

<p>施策の概要</p> <p>子どもが確かな学力を身につけるため、ICT教育や英語教育の充実をはじめとした質の高い授業づくりや基礎的・基本的な知識および技能を生かして、思考力、判断力、表現力等を育む取組を進めます。</p>
--

成果指標(単位)	「授業がわかる」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	88.45	88.60	88.75	88.90
実績値	88.30	89.30	88.70		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>アンケート調査の結果、「授業がわかる」と答えた児童生徒の割合は、前年度より0.6ポイント減少しているが、目標値に到達している。児童生徒が主体的・対話的で深い学びとなるために、引き続き、授業改善に取り組み授業の工夫をしていく必要がある。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>ICT教育や英語教育、道徳教育をはじめとして、単元をとおして主体的・対話的で深い学びへの授業改善を図った結果、課題解決的な学びを推進し、解答に至るまでの考え方や自分の意見を効果的に伝えることに焦点をあてた授業実践を行う教師が増えてきた。今後も引き続き、ICTを効果的に活用した授業改善を全ての市立小中学校で徹底を図る必要がある。</p>

<p>評価に基づいた令和6年度の取組についての考え方</p> <p>「授業がわかる」と答えた児童生徒の割合については、減少しているものの、「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい」と回答した児童生徒の割合が9割を超えており、ICT機器が身近なものになっている。今後は、新たに導入した協働学習ソフトやAI型デジタルドリルの活用を進め、協働的な学びと個別最適な学びを提供する取組を引き続き推進する。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
英語教育推進事業	学校政策推進課	○	市内全小中学校におけるALTの巡回指導や小学校オンライン授業の実施、市内6小学校へのJTE派遣により、英語教育の充実を図ることができたため。
学校ICT推進事業	学校政策推進課	○	ICT教育スーパーバイザー、ICT支援員による学校訪問や研修会を行った。ICT活用の使用頻度が上がるとともに、授業において効果的な活用を重ね、子どもたちの主体的・対話的で協働的な学びが進んできたため。
子ども読書活動推進事業	学校教育課	○	児童の家庭学習を充実させたり、学校での学習支援を行ったりすることで学力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進につながったため。
小1学びの基礎育成事業	児童生徒支援課	○	小学校14校において、タブレットPCを活用しながら、児童の読みの力を分析・把握し、一人一人の課題に応じた多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を行ったため。
子ども読書活動推進事業	生涯学習課	○	乳幼児健診時およびすこやか訪問時に、家庭読書の啓発チラシを配布し、子ども読書活動の啓発および推進を図ることができたため。

■施策評価シート 3-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
学校教育支援教員配置事業	学校教育課
授業充実加配教員配置事業	学校教育課
スクールESDくさつ推進事業	学校教育課
学びの教室開催事業	児童生徒支援課
学力向上重点事業	学校政策推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事

■ 施策評価シート 3-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-02-①	施策名	教職員の指導力の向上

<p>施策の概要</p> <p>教育の今日的課題に対応するため、各種研修講座(人権教育、教科教育、生徒指導、教育相談、特別支援教育、道徳教育、英語教育等)を開催するとともに、スキルアップアドバイザーを派遣し、各校でのOJT体制について指導・支援を行い、教職員の指導力の向上を図ります。</p>

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		91.5	92.2	92.9	93.6
実績値	90.8	90.4	90.0		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>実績値は目標値を超えておらず、この2年間0.4%ずつ減少していることは課題ではあるが、令和元年度以降90%以上の高い水準を維持している。教員が学力向上マネジメント会議や講座、研修等で学んだことを活かし、「スクールEDSくさつ」や各教科の学習で子どもたちの主体的な学びや協働的な学びを実践していることが一つの要因として考えられる。また、教育相談や特別支援教育の視点を生かして、児童生徒が安心してすごせる学級・学校づくりが進んでいるからとも考えられる。今後についても、教職員のさらなる資質の向上のため、継続した取り組みが必要である。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>各種研修講座やスキルアップアドバイザーの派遣等の施策を実施するとともに、校内OJTの充実等、学校現場の課題に即した学びの場を作り、教職員の指導力の向上を図っているが、教職員のさらなる資質の向上のため継続した取り組みが必要である。</p>
--

<p>評価に基づいた令和6年度の取組についての考え方</p> <p>学習指導力向上や学校現場の課題への対応力向上のために、学校管理職の指導・助言のもと、OJTを効果的に機能させるための研修等の充実を図り、各校の実情に応じたOJT推進体制づくりを支援するとともに、現場の管理職に問題意識を持たせたいので、管理職研修を実施する必要がある。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
教職員研修事業	学校教育課	○	学力向上マネジメント会議や経験年数に応じた研修会、各種事業での授業研究会、講演会等を多く行い、研修を通して実践力を高められたため。
講座開設事業	教育研究所	○	新型コロナウイルス感染症対策をしながらも、今日的な課題に即した対面での研修を実施することができたため。
スキルアップアドバイザー配置事業	教育研究所	○	各学校のニーズに応じてアドバイザーの派遣を行い、教員の資質向上に関する支援を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育研究所指導員配置事業	教育研究所
教育研究所運営事務	教育研究所
教育調査研究事業	教育研究所

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-02-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-02-②	施策名	学校経営の充実

施策の概要

コミュニティ・スクールを推進し、地域と連携した学校経営の充実を図ります。また、教職員（市費負担による加配教員）をはじめ、スクールソーシャルワーカーや家庭学習サポーター等を配置し、学校の指導体制や運営体制の支援に取り組みます。

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		91.5	92.2	92.9	93.6
実績値	90.8	90.4	90.0		

成果指標実績に対するコメント

児童生徒へのアンケート調査の結果、「学校が楽しい」と答えた児童生徒の割合は、目標値には到達しなかったが、実績値は、令和3年度と比較するとほぼ横ばいとなっており、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、一人ひとりの児童生徒へのきめ細やかな対応を行ったことに対する児童生徒の評価が現れたものと考えます。

施策の達成度評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら取組を進める中で、教職員に、課題に対して組織的に対応する体制が進んできた。新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが段階的に下がる中で、適切な教育活動を実施し、児童生徒への確かな支援をするため適材適所の人材配置や効果的な連携の仕方について検討を進める必要がある。

評価に基づいた令和6年度の取組についての考え方

“チーム学校”の構想を継続し、支援員や加配教員の配置等も含め、つなぎ目役や窓口となる教員の育成ができるよう研修の充実を図る。また、保護者や地域、関係機関と連携しながら課題に対して組織的かつ継続的に対応する体制を構築した学校経営を推進していくため、コミュニティ・スクールの充実、強化を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
コミュニティ・スクールくさつ推進事業	学校政策推進課	○	全小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、学校、保護者、地域の組織的かつ継続的な連携と協働体制の確立し、協議内容を熟議する意識が進んだ。また、ESD推進のため、地域連携を進めることができたため。
スクール・サポート・スタッフ配置事業	学校教育課	○	児童の家庭学習を充実させたり、学校での学習支援を行ったりすることで学力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進につながったため。
中学校生徒指導主事活動推進事業	児童生徒支援課	○	児童生徒の問題行動等の未然防止および早期発見・早期解消に向け、学校を中心とした取組を充実させるとともに、関係機関等との連携や啓発活動を行うことができたため。
教室アシスタント配置事業	児童生徒支援課	○	小学1年生全てのクラス等に教室アシスタントを配置することで、児童生徒へのきめ細やかな支援を行うことができ、安心して学校生活を送れるようになったため。
学校問題サポートチーム運営事業	教育研究所	○	学校での対応困難なケースについて、専門家から適切なアドバイスを提供することで、事態の改善に向け具体的な指導や支援を行ったため。

■施策評価シート 3-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学事管理事務	学校教育課
学校運営支援事業	学校教育課
学校基本調査事務	学校教育課
通学区域管理事務	学校教育課
学生ボランティア派遣事業	学校教育課
外国人児童生徒教育支援事業	児童生徒支援課
学校支援対策充実事業	児童生徒支援課
児童生徒支援事務	児童生徒支援課
学校問題相談支援事業	児童生徒支援課
児童通学支援事業	児童生徒支援課
学校運営支援事業	学校政策推進課
やまびこ教育相談室運営事業	教育研究所
学校運営支援事業	教育研究所

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事

■ 施策評価シート 3-02-③

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-02-③	施策名	教育環境の充実

<p>施策の概要</p> <p>老朽化が進む小中学校の施設・設備の計画的な改修・更新を図るとともに、非構造部材の耐震対策を含めた点検・修繕等の維持管理に努めます。また、学校図書や学習教材等の充実を図るとともに、学校内における事務等の効率化を図るため、情報化の取組を推進します。</p>
--

成果指標(単位)	非構造部材の耐震化実施校率(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		65.0	70.0	70.0	75.0
実績値	65.0	65.0	70.0		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>計画どおり小学校1校(2期分)を実施したことにより、目標値を達成することができた。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>計画どおり工事を実施し、非構造部材の耐震対策が図られた。</p>

<p>評価に基づいた令和6年度の取組についての考え方</p> <p>市内すべての小中学校で非構造部材の改修が完了するよう国の交付金を取り込みながら計画的に工事を進める。</p>
--

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小学校大規模改修事業	教育総務課	○	計画どおり校舎やグラウンドの改修を実施することができたため。
中学校大規模改修事業	教育総務課	○	計画どおりトイレの改修を実施することができたため。
校務情報化推進事業	学校政策推進課	○	校務用コンピュータの維持管理を行い、メール配信システムや校務支援システムの運用により、校務の効率化を図ることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校管理運営事業	教育総務課
小学校教育教材整備事業	教育総務課
小学校施設維持管理事業	教育総務課
中学校管理運営事業	教育総務課
中学校教育教材整備事業	教育総務課
中学校施設維持管理事業	教育総務課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。